

第24回 重信川フォーラムを開催しました！

令和6年1月22日（月）に伊予市米湊の『IYO夢未来館 文化ホール』で【第24回重信川フォーラム】を開催しました。

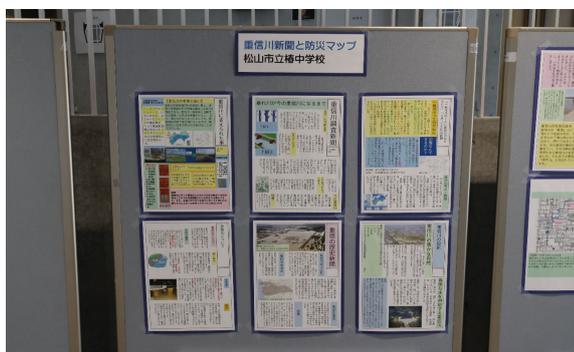
新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4年ぶりの開催となりました。

中学校1校、高校2校、一般、学識者による重信川の環境・防災・河川公園の利活用といった多岐にわたる発表に、伊予農業高校生を含む約100人の参加者は熱心に聴講していました。

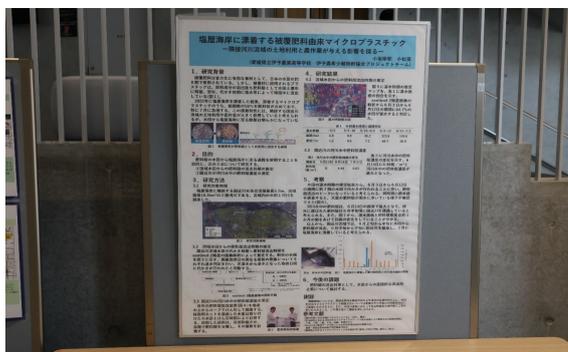
積極的な意見交換も行われ、発表者によるフリーディスカッションでは、それぞれの重信川への想いを語り合いました。

学校関係発表者には研究成果を讃え『重信川の自然をはぐくむ会』から感謝状が贈呈されました。

※会場入口前ホワイエ展示



【松山市立 椿中学校1年生】
「重信川新聞と防災マップ」



愛媛県立伊予農業高校
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム



【開会挨拶】重信川の自然をはぐくむ会
矢田部 会長



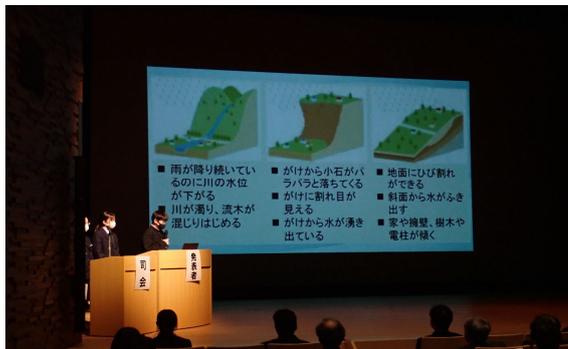
【ビデオメッセージ開会挨拶】
重信川流域市町首長 代表 加藤東温市長

■ 講演内容

□ 学校

松山市立椿中学校1年生

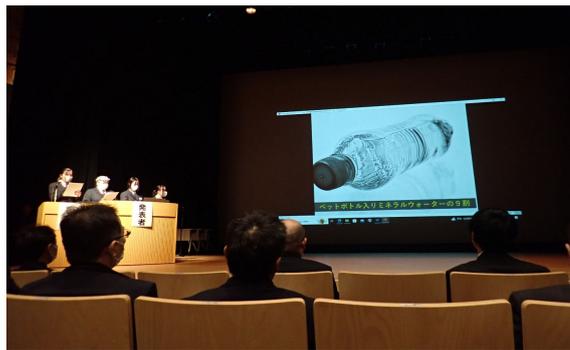
『重信川を対象とした環境・防災の取組について』



□ 学校

愛媛県立伊予農業高等学校【伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム】

『重信川河口部に漂着する化学肥料由来のマイクロプラスチックゴミについて』



愛媛大学附属高等学校【理科部プラガールズ】

『海洋マイクロプラスチック解消の挑戦～実態調査・対策研究・啓発活動～』



□ 一般

(株)フィールド 代表取締役 上野 氏

『重信川における自転車を活用した賑わいの創出と今後の展望について』



□ 学識者

愛媛大学理学部生態学研究室・工学部保全生態学研究室・愛媛大学附属高等学校 発表者：畑 教授

『重信川の自然再生地を用いた希少種マツカサガイとヤリタナゴの保全管理計画』



【意見交換】



【発表者によるフリーディスカッション】



【感謝状の贈呈】



【閉会挨拶】

国土交通省

松山河川国道事務所 菊地 所長

